

平成27年 6月30日
国土交通省道路局

スマートインターチェンジの新規事業化・準備段階調査について

- スマートインターチェンジについては、本日付で新規事業化しましたので、お知らせします。

今回の新規事業化は4箇所であり、例えば、

- ・県庁所在地都市の中心市街地へのアクセス向上など
都市内の交通状況の改善
- ・周辺の物流拠点から高速道路へのアクセス向上など
産業振興・物流の効率化

などの効果が期待されます。

- また、スマートインターチェンジの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、国が調査を実施する「準備段階調査」を今年度より実施します。

今回の準備段階調査は17箇所であり、これにより、スマートインターチェンジの地方での計画的かつ効率的な準備・検討の推進が図られることが期待されます。

別添①: スマートインターチェンジ新規事業化箇所一覧表

別添②: スマートインターチェンジ新規事業化箇所図

別添③: スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果事例

別添④: スマートインターチェンジの手続きについて

別添⑤: スマートインターチェンジ準備段階調査箇所一覧表

別添⑥: スマートインターチェンジ準備段階調査箇所図

別添⑦: スマートインターチェンジの準備段階調査について

[問い合わせ先]

国土交通省 道路局 高速道路課 課長補佐 甲斐 一洋

[代表] TEL 03-5253-8111 (内線38362)

[直通] TEL 03-5253-8500、FAX 03-5253-1619

スマートインターチェンジ^{※1}新規事業化箇所 一覧表

別添①

(単位:百万円)

スマートインターチェンジの名称(仮称) ^{※2}	連結位置	路線名 ^{※3}	H27事業費 ^{※4}	接続形式
おおや 大谷	栃木県宇都宮市	東北縦貫自動車道弘前線(鹿沼IC～宇都宮IC間)	24	本線直結型
みよし 三芳(フル化) ^{※5}	埼玉県入間郡三芳町	関越自動車道新潟線(所沢IC～川越IC間)	22	SA・PA接続型
よこすか 横須賀PA	神奈川県横須賀市	横浜横須賀道路(横須賀IC～衣笠IC間)	22	(上)SA・PA接続型 (下)本線直結型
はだの 秦野SA	神奈川県秦野市	第二東海自動車道(伊勢原北IC～秦野IC間)	22	SA・PA接続型

※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※3 未開通のIC、SA、PAは仮称です。

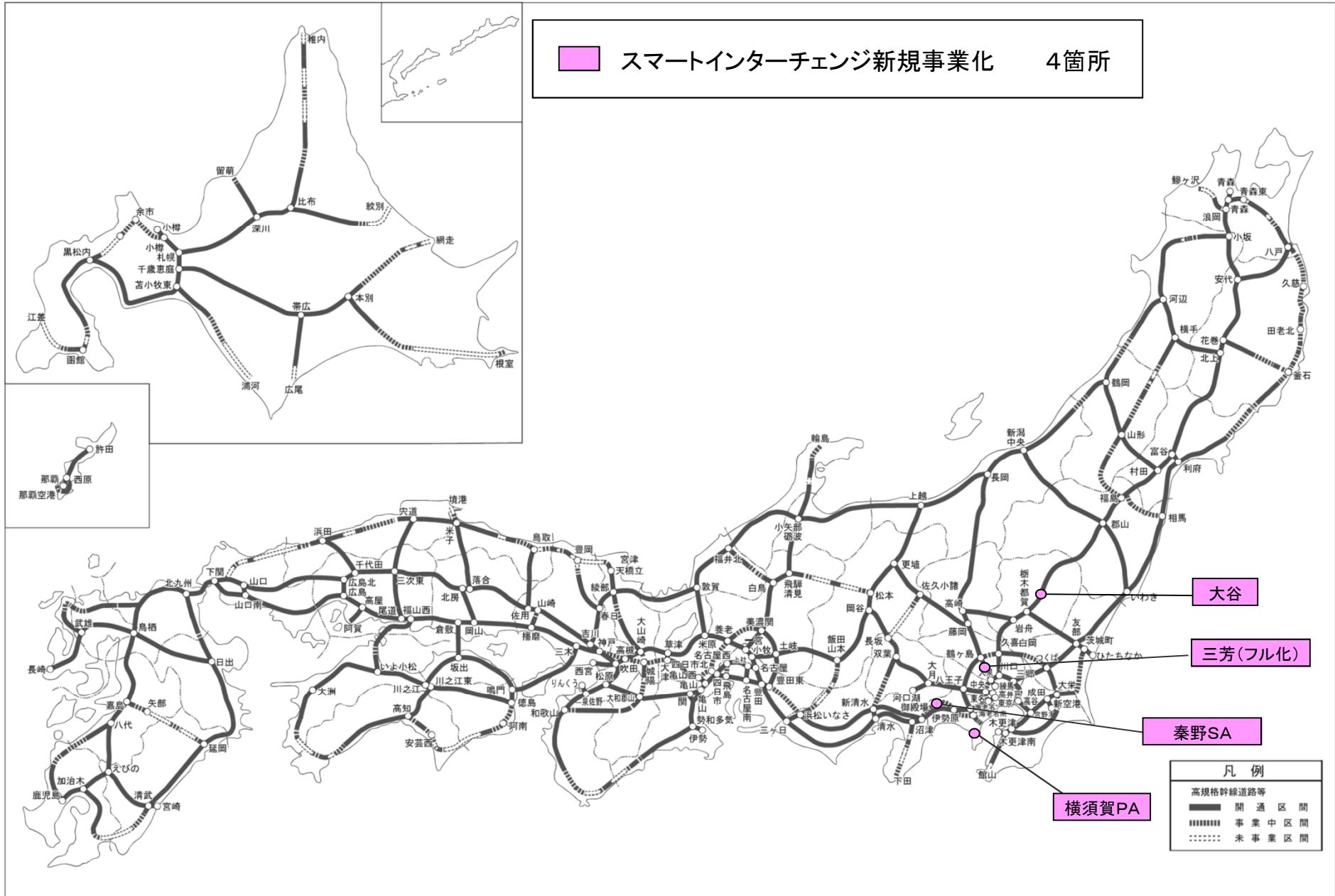
※4 事業費は高速道路機構への補助対象分であり、地方が整備する高速道路の区域から既設の一般道路までの道路本体などは含みません。

※5 一方向のみ出入り可能なスマートインターチェンジ(ハーフ)を二方向で出入りできる構造(フル)にするものです。

スマートインターチェンジ新規事業化箇所図

別添②

スマートインターチェンジ新規事業化 4箇所



■東北自動車道 大谷スマートIC(仮称)

<概要>

路線名 : 東北縦貫自動車道弘前線
 (鹿沼IC～宇都宮IC間)

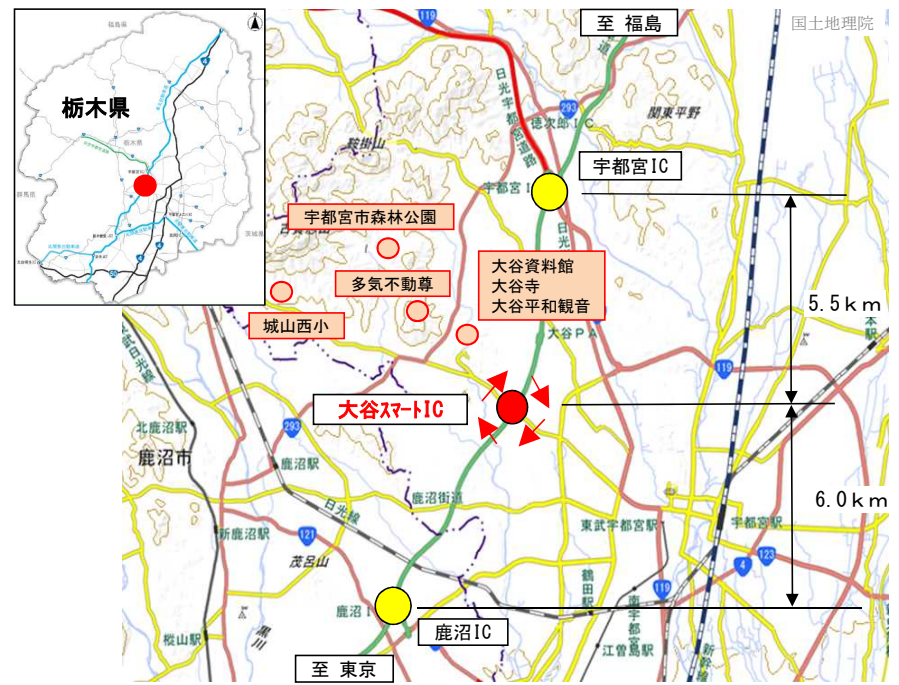
設置場所 : 栃木県宇都宮市

接続形式 : 本線直結型

利用方向 : 全方向 (4/4)

運用形態 : 全車種 24時間

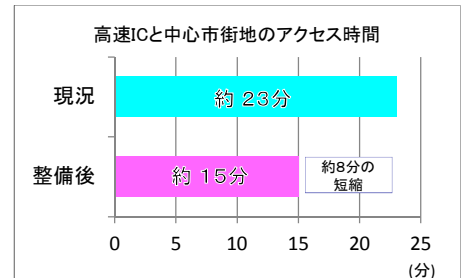
<位置図>



整備効果1 宇都宮市の中心市街地へのアクセス向上

・ 大谷スマートICの整備により、一般道の渋滞を回避し、かつ最短距離で東北道から宇都宮市の中心市街地へアクセスが可能となる。

【効果例】 東京方面から宇都宮市街地へのアクセス性向上
 現況: 約23分 ⇒ 整備後: 約15分 (約8分短縮)



整備効果2 観光交流の支援

・ 大谷スマートICの整備により、大谷資料館など市西部地域の観光資源へのアクセス性が向上し、観光振興につながる。



大谷資料館 H25来訪者数 8.2万人



多気不動尊 H25来訪者数 53.4万人



宇都宮市森林公園 H25来訪者数 21.7万人

■ 関越自動車道 ^{みよし}三芳スマートIC(仮称)[フル化・車種拡大]

<概要>

- 路線名 : 関越自動車道新潟線
ところざわ かわごえ
 (所沢IC～川越IC間)
- 設置場所 : 埼玉県入間郡三芳町
いるま みよし
- 接続形式 : SA・PA接続型
- 利用方向 : 全方向[フル化]
 ※現在は新潟方面出入のみ
- 運用形態 : 全車種[車種拡大] 24時間
 ※現在は普通車以下に制限

<位置図>



整備効果1 物流の効率化・産業振興

- 現在、普通車以下かつ新潟方面の出入に制限されている三芳スマートICを大型化、フル化することにより、周辺に立地する物流拠点へのアクセスが向上することで、物流の効率化が図られ、周辺地域の産業振興につながる。

【効果例】 周辺の物流企業から最寄りICまでの所要時間(東京方面)
 現況:約10分 ⇒ 整備後:約2分 (約8分短縮)

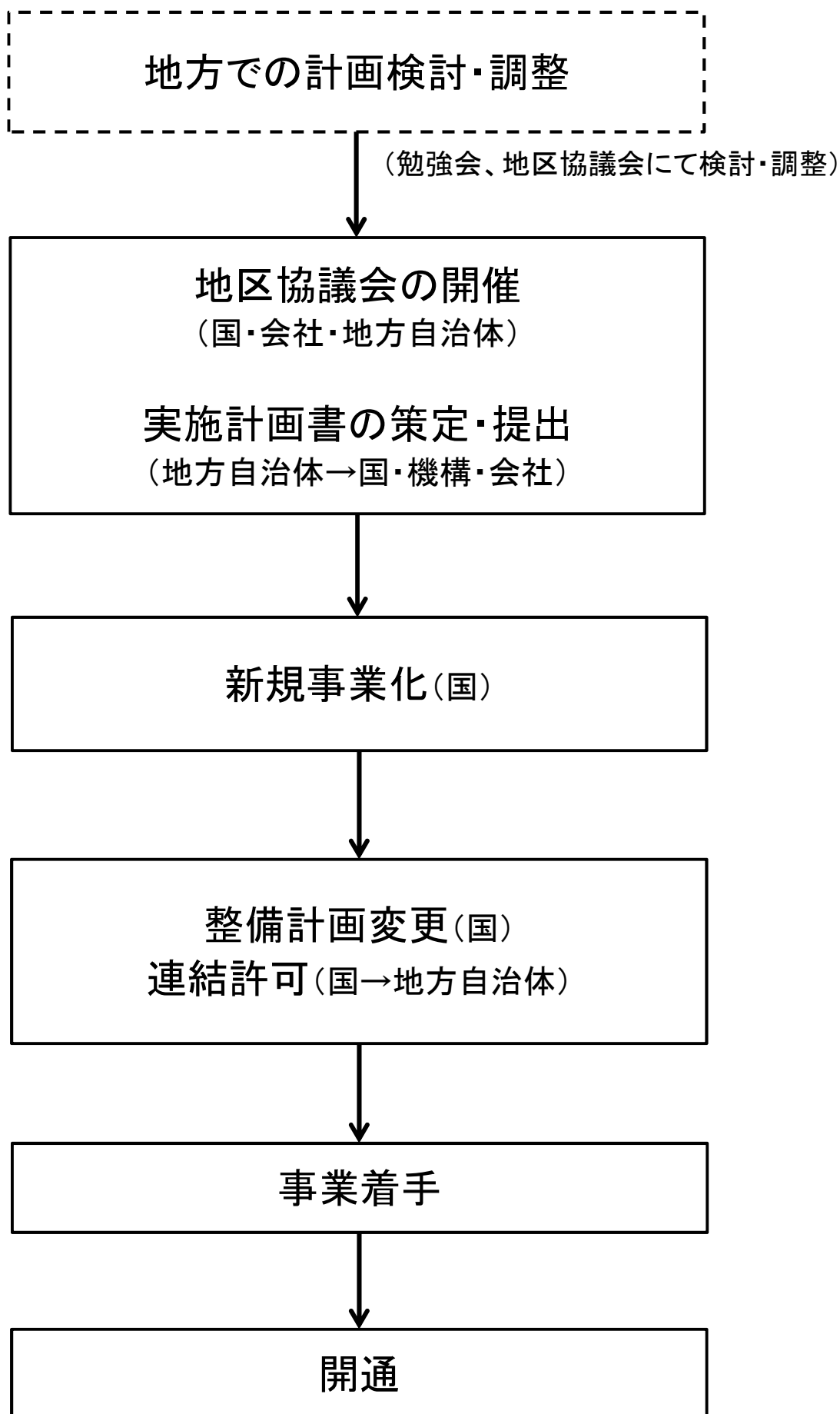
整備効果2 周辺一般道の環境改善

- 周辺一般道への大型車の流入が抑制され、周辺道路の渋滞緩和や地域の生活道路の安全性向上につながる。



新たなIC 3km圏域の主な物流企業と出荷台数 (H26)

スマートインターチェンジの手続きについて



スマートインターチェンジ^{※1}準備段階調査箇所一覧表

別添⑤

スマートインターチェンジの名称(仮称) ^{※2}	検討位置	路線名 ^{※3}
つがにしかた 都賀西方	栃木県栃木市	東北縦貫自動車道弘前線(栃木IC～鹿沼IC間)
やいたきた 矢板北	栃木県矢板市	東北縦貫自動車道弘前線(矢板IC～西那須野塩原IC間)
たいない 胎内	新潟県胎内市	日本海沿岸東北自動車道(中条IC～荒川胎内IC間)
かみいち 上市	新潟県中新川郡上市町	北陸自動車道(滑川IC～立山IC間)
ふじよしだみなみ 富士吉田南	山梨県富士吉田市	東富士五湖道路(富士吉田IC～山中湖IC間)
すわこ 諏訪湖	長野県諏訪市、岡谷市	中央自動車道西宮線(諏訪IC～岡谷IC間)
ざこうじ 座光寺	長野県飯田市	中央自動車道西宮線(松川IC～飯田IC間)
ちくほく 筑北	長野県東筑摩郡筑北村	中央自動車道長野線(安曇野IC～麻績IC間)
みさか 神坂	岐阜県中津川市	中央自動車道西宮線(園原IC～中津川IC間)
こまかど 駒門	静岡県御殿場市	第一東海自動車道(御殿場IC～裾野IC間)
あしがら 足柄	静岡県駿東郡小山町	第一東海自動車道(大井松田IC～御殿場IC間)
かりや 刈谷	愛知県刈谷市	第二東海自動車道(豊田南IC～豊明IC間)
たが 多賀SA	滋賀県犬上郡多賀町	中央自動車道西宮線(彦根IC～八日市IC間)
じょうよう 城陽	京都府城陽市	近畿自動車名古屋神戸線(宇治田原IC～城陽IC間)
かも 加茂BS	島根県雲南市	中国横断自動車道尾道松江線(三刀屋木次IC～宍道IC間)
あわ 阿波	徳島県阿波市	四国縦貫自動車道(土成IC～脇町IC間)
きかいできた ^{※4} 坂出北	香川県坂出市	本州四国連絡道路瀬戸中央自動車道(児島IC～坂出IC間)

※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

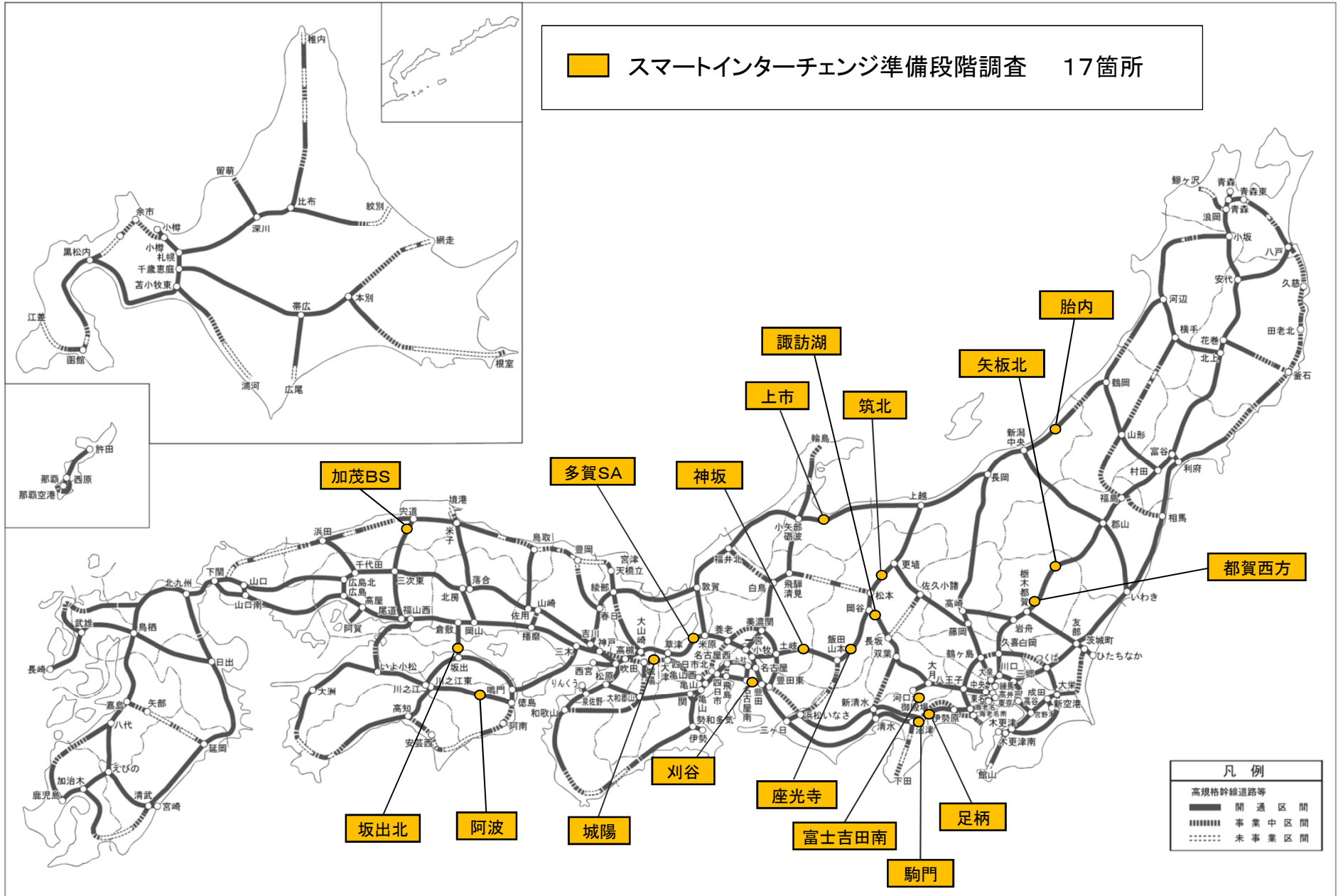
※3 未開通のIC、SA、PAは仮称です。

※4 一方のみ出入り可能なインターチェンジ(ハーフ)を二方向で出入りできる構造(フル)にするものです。

スマートインターチェンジ準備段階調査箇所図

別添⑥

スマートインターチェンジ準備段階調査 17箇所



スマートインターチェンジの準備段階調査について

別添⑦

- スマートICの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査(直轄調査)を実施。
- 選定された箇所では、関係機関で構成される「準備会」を新たに設置しつつ、調査・検討の一部を国が担うことで、地方での計画的かつ効率的なスマートICの準備・検討を推進。

